

独立行政法人国立文化財機構契約監視委員会（令和5年度第2回）議事概要

開催日及び場所	令和6年6月12日（水） 東京国立博物館平成館3階第1会議室	
出席委員 （敬称略）	<p>○委員長 原田 一敏（ふくやま美術館 館長／東京藝術大学 名誉教授）</p> <p>○委員 西浦 忠輝（特定非営利活動法人文化財保存支援機構 副理事長） 山田 美代子（公認会計士） 太刀川 俊明（株式会社三越伊勢丹 美術営業部 営業部長） 久留島 典子（独立行政法人国立文化財機構 監事） 稲垣 正人（独立行政法人国立文化財機構 監事）</p>	
審議対象期間	令和5年10月1日～令和6年3月31日	
個別審査対象案件	209件	○議事
令和5年度（10～3月期）契約（競争性のない随意契約）	62件	<p>（報告事項）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和5年度第1回契約監視委員会の実施結果について</li> <li>前回契約監視委員会のフォローアップについて</li> <li>令和5年度契約実績について</li> </ol>
令和5年度（10～3月期）契約（一者応札・一者応募）	99件	<p>（協議事項）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和5年度（10～3月期）契約点検（競争性のない随意契約）</li> <li>令和5年度（10～3月期）契約点検（一者応札・一者応募）</li> <li>令和5年度（10～3月期）契約点検（その他案件）</li> </ol>
令和5年度（10～3月期）契約（その他案件）	48件	

※委員からの意見・質問、それに対する回答及び審議総括については、【別紙1】のとおり



検討してほしい。

(2) 総括

令和 5 年度 (10~3 月期) 契約 (競争性のない  
随意契約) について、妥当であると判断する。

2. 令和 5 年度 (10~3 月期) 契約 (一者応札・  
一者応募) の点検

(1) 該当の契約 99 件について

- ・東京国立博物館等の施設管理・運營業務について、大型な契約で一者応札・応募が続いているが、調達方法について適切か。
- ・一者応札・応募が続く中でも、契約金額を抑えるための方策は実施可能と考える。今後、金額を抑えるために調達の際に行った方策等あれば本委員会で報告してほしい。

(2) 総括

令和 5 年度 (10~3 月期) 契約 (一者応札・一  
者応募) について、妥当であると判断する。

3. 令和 5 年度 (10~3 月期) 契約 (その他案件)  
の点検

(1) 該当の 48 件について

特段の質問事項はなし

(2) 総括

令和 5 年度 (10~3 月期) 契約 (その他案件)  
について、妥当であると判断する。

4. 令和 5 年度独立行政法人国立文化財機構調達

- ・複数の施設管理に関する業務を一括で調達しており、幅広い業務を担うために共同企業体が結成されている。そのため、一者による受注が困難な側面もある。次回契約において、仕様内容や範囲について見直しが可能か検討したい。
- ・承知した。

等合理化計画の自己評価について

(1) 自己評価について

- ・公告期間拡大や入札の早期化等の自主的取組は積極的に実施できていると評価する。一者応札・応募になる案件については、引き続き事後点検等で原因の究明に努め、次回の調達に生かしてほしい。
- ・電子入札システムの導入についての検討状況を説明してほしい。

(2) 総括

令和 5 年度独立行政法人国立文化財機構調達等合理化計画の自己評価については、妥当であると判断する。

5. 令和 6 年度独立行政法人国立文化財機構調達等合理化計画の策定について

(1) 策定について

特段の質問事項はなし

(2) 総括

令和 6 年度独立行政法人国立文化財機構調達等合理化計画の策定については、妥当であると判断する。

以上

- ・承知した。

- ・費用対効果が見込めないため導入は依然として見送っているところである。改めて他法人の導入状況なども確認した上で導入の可否を検討したい。